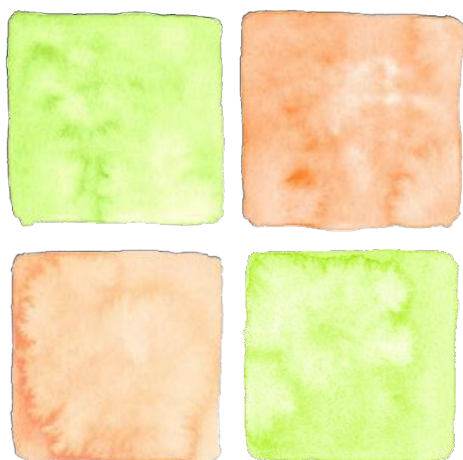
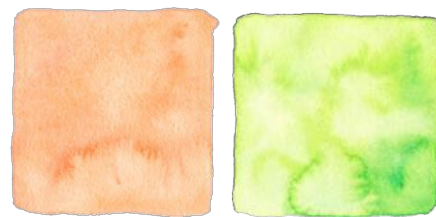


特定非営利活動法人



みんなでクリスマスパーティーをしたり、
基地を作り、火を起こしたり、
お菓子を作りしています。

こどもとつくる 暮らし☆あそび☆まなびの場 Roots の
そうくんが写真撮影と説明を書いてくれました。

Annual Report 2016

こども×おとな=未来

特定非営利活動法人こども NPO は 2001 年より子どもの社会参画を推進し、子どもたちと共に持続可能な社会をつくるために活動してきました。私たちの組織の基盤には、国連『子どもの権利条約』があり、その理念に基づいて様々な事業を展開しています。子どもの権利は生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利の 4 つに大別されますが、私たちが特に大切にしているのは参加する権利です。私たちは子どもたちの主体的な活動を支援することで、ないがしろにされがちな子どもの権利を保障していきたいのです。

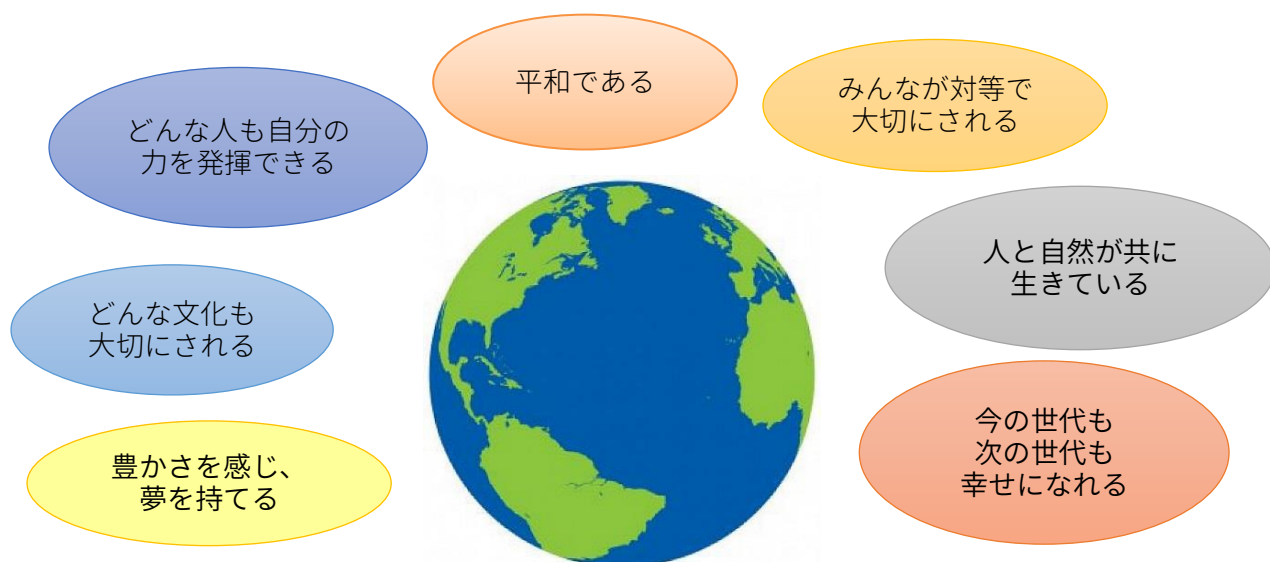
また、子どもの社会参画を推進することは、子どもたちの主体性を伸ばし自己尊重感を高めることにつながります。子どもたちが自分の暮らす社会に関わり、その中で意見表明をしたり自分の役割を果たすことによって、「自分にもできることがある。自分は価値のある人間なのだ。」という感覚を持つようになります。現在私たちが暮らす社会はほとんどおとなの手によってつくられたものですが、社会の構成員はおとなだけではないはずです。より良い社会を構築しようと考えれば、私たちの社会を構成する多様な人たちの声に耳を傾け、相互の関わりの中で持続可能な社会をつくる手立てを模索していくべきです。現在、私たちの社会には様々な課題が山積しています。現状で課題が解決されていない現状を見ると、おとなだけで解決しようとすることに既に無理があるのではないのでしょうか。未来を生きるのは子どもたち自身です。「子どもたちのために」ではなく「子どもたちと一緒に」、こども NPO は子どもの社会参画を促進し、持続可能な社会をつくっていきます。

理事長 石原信行



★ 持続可能な社会を実現するために必要な子どもの社会参画

こども NPO がつくりたい持続可能な社会とは・・・



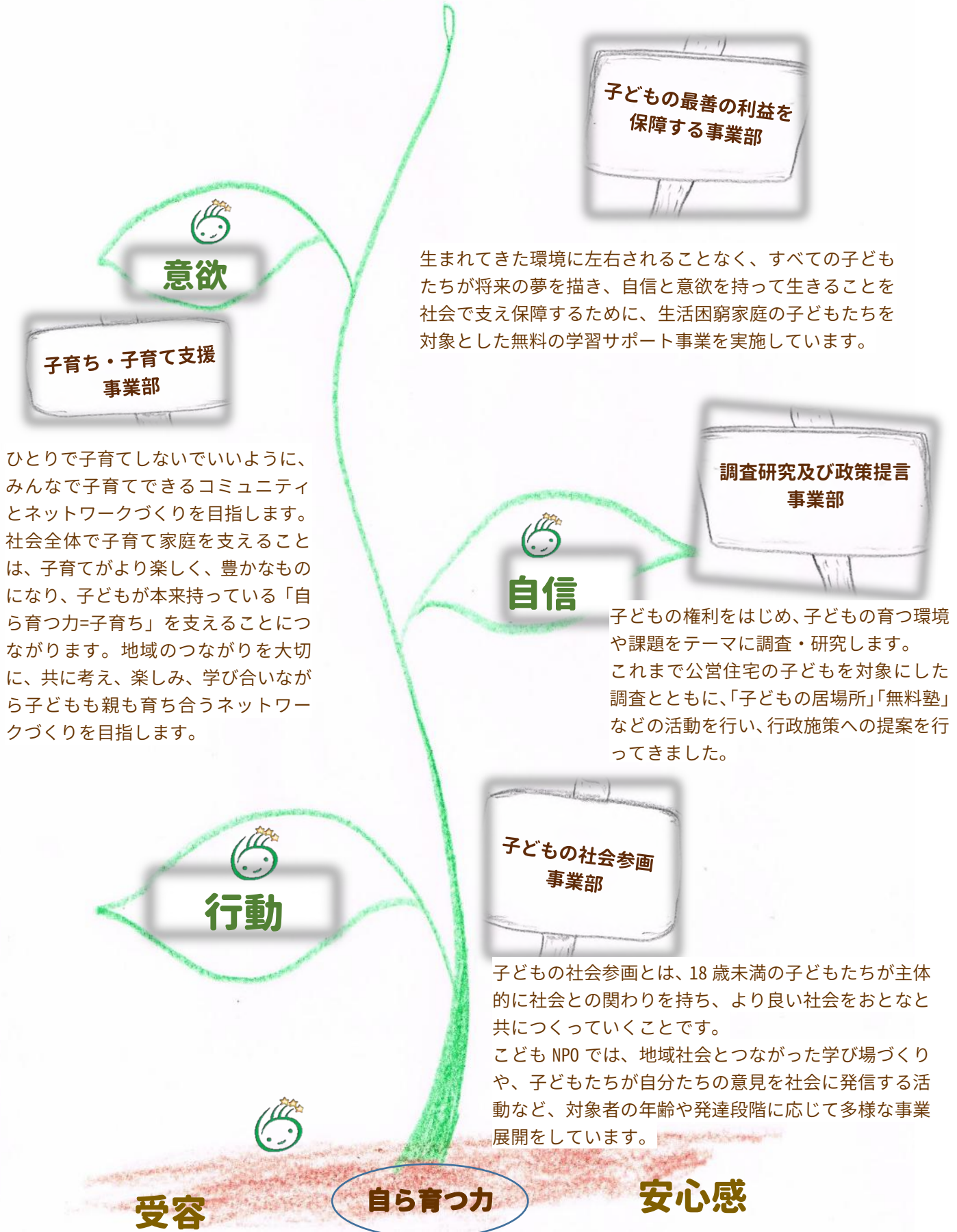
こんな社会をつくるためには、**仲間**が必要です。**子どもとおとなはパートナー。**

こどももおとなも持続可能な社会をつくる担い手です。

こども NPO は、持続可能な社会をつくる人を増やす事業を展開しています。

★ こどもNPOの事業

子どもたちが持っている自ら育つ力を信じ、自ら行動し、自信を持ち、意欲を持って成長していけるような事業を、大人と子どもが力を合わせて実践しています。



★ 活動報告 (1) 子どもの社会参画事業

子どもが市民の一人であることを実感し、自分らしく生き持続可能な社会づくりの担い手として行動できるようサポートします。

Teens' Café ～中高生・若者の社会参画活動～ (自主事業)

中高生・若者が主体となり、子どもの権利について学び、発信する活動です。若い世代の声が発信される場をつくり、子どもの社会参画を推進することで持続可能な社会の構築へつなげていきます。

自主事業、受託事業ともに、中高生・若者メンバー自らが一から企画・運営を担います。毎月のミーティングで自分たちの意見を共有しながら企画をつくりあげ、様々なプログラムを通して多様な人たちと出会うことで、主体性や広い視野が育まれています。

■自主事業

自主企画「選挙について考えよう」<2016年6月12日>

選挙権が18歳に引き下げられたことをきっかけに企画しました。

若者の参加する権利について考え、ワークショップ形式で予定候補者と活発な意見交換を行いました。政治の意義を探り、政治を身近に感じるきっかけとなりました。



「選挙について考えよう」報道掲載

「子どもの権利条約フォーラム in 関西」への参加

<2016年12月10日～11日>

子どもの権利条約ネットワークが呼びかけ、毎年全国規模で行われているフォーラムです。Teens' Caféのメンバーがパネルディスカッションのパネリストを務めました。また、分科会でも「いじめ、虐待、子どもの居場所」をテーマにワークショップを開催しました。この経験を生かして、同月に開催の「緑区人権尊重のまちづくり事業」へ繋げました。



「子どもの権利条約フォーラム in 関西」の様子 報道掲載

■緑区人権尊重のまちづくり事業 受託

「こども&おとな ホンネTalk Live in 2016」<2016年12月23日>

子どももおとなも人権に対する意識を高めることで、子どもの声が発信される社会を構築することを目指して開催しました。2015年度からの継続事業として実施し、前年度の「おとなと子どもが理解しあう・思いを伝えあう」という目的を一步進め「みんなの声を発信する・考えを社会に広めていく」ことをテーマに設定し内容を深化することができました。Teens Caféメンバーがファシリテーターとなり、ワークショップ形式で「いじめ・虐待・子どもの居場所」について子どもと大人が共に意見交換をしました。メンバー自身の体験を元に解決策を話しあったり、子どもの声が尊重されるにはどんな行動をしたら良いのか話しあったりしました。他地域からの若者にも参加してもらい活動事例を紹介してもらおうなど、ネットワークを生かした活動となりました。



ワークショップの様子



企画・運営を担うメンバー

♪メンバーの声より♪

「昨年よりも1ステップ上を目標としてやってみて、アイデアはいっぱいでたが、実際に広げようと思った時にいろいろなハードルがあることがわかりました。他団体紹介では、あまり深く知らなかった団体の話を聞くことができ、これからの活動の参考にしたいと思いました。私たちがやってきたことが社会に広がるようにこれからも努力していきたいです」



子どもの社会参画推進事業 「なごっちサミット 2016」(受託事業)

名古屋市とこどもNPOが協働し策定した〔なごや子ども条例〕。条例17条に規定する子どもの社会参画を促進する事業「なごっちサミット」を企画・運営しました。2016年度のテーマは名古屋城。こどもNPOが‘子ども参画ファシリテーター※’として、企画段階から若者サポーターたちと一緒に作りあげていくことで、子どもたちの声をより引き出し魅力的な場を創出しました。

取り組みを通じて子どもたち自ら、名古屋城だけに留まらず名古屋の魅力を積極的に発信していきたい・名古屋というまちをもっと良くしたいという声もあがり、シビックプライドの醸成につながりました。また、事業を進めるにあたり、行政と共に意見を出し合う場をつくり、事後分析を共有することで、子どもが市民の一員として社会参画するための今後を共に考えるきっかけとなりました。



ワークショップ / “みんなと仲良くなろう！” “つくろう！もっと楽しい名古屋城”



名古屋城の『なぞ解きツアー』

- タイトル なごっちサミット 2016『子ども名古屋城をつくろう！
～ここがいいね！こんなのがあったらいいね！わたしたちの名古屋城～』
- 運営 こどもNPO、名古屋市子ども未来課、名古屋市観光文化交流局
ナゴヤ魅力向上室／名古屋城総合事務所
- 日時 2017年1月29日(日) 10:00～16:30〔当日〕
2016年11月～2017年1月 全4回〔若者サポーターとの企画会議〕
- 場所 名古屋城(名古屋市中区本丸1番1号)
- 内容 ●徳川隠密隊ガイドによる『名古屋城なぞ解きツアー』
●子ども人気おみやげランキング
●『名古屋おもてなし武将隊とあそぼう♪』～交流・記念撮影～
●ワークショップ“つくろう！もっと楽しい名古屋城”



人気おみやげランキング

■子ども参画ファシリテーターとは？

子ども参画ファシリテーターが子どもにとって大切にしたい3つの要素

ファシリテーター

心に火をつける
市民意識、社会性

プレイワーカー

安心して遊べる
楽しい♪面白い！ チャレンジする
エンパワーメント

社会に発信する
社会を変える

コミュニティーワーカー

地域の多様な人との出会いと相互理解
つながりのなかでの役割・活躍の場

★ 活動報告 (1) 子どもの社会参画事業

各拠点でのこども参画

子どもたちと共に事業を企画運営したり、子どもたちが拠点の運営ルールづくりに参加することによって、各地域拠点において子どもの社会参画へつなげています。



もうひとつのがっこう 子どもとつくるくらし★あそび★まなびの場 Roots (自主事業)

子どもたちが主体的に学校運営に関わり、自分らしく他者と関わりながら社会で共に生きる力を育むことを目的にした地域の学校です。



子どもとつくるまち ピンポン横丁 2016 (自主事業)

企画、運営など準備から子ども主体で行い、地域の人を巻き込んで「こどものまち」をつくりました。「まち」のしくみやルール、必要な役割や仕事を子どもたちで決めることで、社会のしくみに触れます。また、建築の専門家を招き、「まち」の建築物も一からつくりました。一人ひとりが参画していくことの大切さを知り、地域の方と学びあう機会を持ちました。

(協働先：TeTe 建築設計室)

名古屋市から受託している児童館運営は、子どもに健全な遊びを提供し、その心身の健康を増進し情操を豊かにすることを目的としています。子どもたちは遊びを通して考え、決断し、責任を持つという行動を通してもともと子ども自身を持っている自主性・社会性・創造性を引き出します。また、「こども会議」などを通して、事業の運営を子どもと共に進める機会をつくっています。

「こども企画」事業では、こどもが主体的に企画し、自分たちで準備・広報・運営を行います。また、地域拠点の要でもある公共施設の運営にも子どもたちの意見を反映し、子どもの声をまちづくりに活かしています。地域の拠点運営に主体的にかかわることで、他者とのつながりの中で役割を見出し、人の役に立ちたい・社会につながりたいという意欲が生まれ、社会参画につながるきっかけとなります。



名古屋市緑児童館 (指定管理)

事業例：こどものまち 365 / こども会議 / こども企画
【こどものまち 365】

自分たちの居場所・コミュニティである児童館の運営やルールの提案について定期的に話し合います。また、年間で2万円の「子ども予算」を設け、設備や用具などの使い道についても話し合います。



名古屋市中川児童 (指定管理)

事業例：こども交流カフェ / こども会議 /
こども企画 /
赤ちゃんとおぼろプロジェクト
(中高生主体プロジェクト)

【こども交流カフェ】

継続的に、地域の人たちとの交流の場を子どもたち自身でつくり、創意工夫を重ねています。地域の中でつながりを生み、たくさんの地域の方が子どもたちを見守ってくれる環境づくりの一翼も担っています。

★ 活動報告（2）子育て・子育て支援事業

社会全体で子育て家庭を支えることは、子育てがより楽しく豊かなものになり、子どもが自ら育つ力＝子育てを支えることにつながります。多様な人との出会い、つながりあいのある居場所として、孤立した子育ての解消や仲間づくりの場をつくり、子どもも親も育ちあうネットワークを生み出しながら多様な子育て・子育てを支えます。



名古屋市緑児童館

(指定管理)

事業例：移動児童館
「ちびっこ冒険ひろば」
子どもに自由で、ありのままの自分を受け入れることができる場です。

名古屋市子ども・子育て支援センター 758キッズステーション (受託事業)

事業例：「キッズパーク」子育て親子の交流の場
「ぷらっと講座」新しい出会いや仲間づくりのきっかけになる講座を開催しています。



サバンナプレーパーク



なるこプレーパーク



かこがいけプレーパーク

名古屋市中川児童館 (指定管理)

事業例：子育て支援拠点事業「ひよこっこ広場」
移動児童館「おひさま広場」「どろんこ広場」
子育てを支える仲間との出会いとつながりの場です。

緑区子育て支援ネットワーク連絡 会コーディネート事業 (受託事業)

子どもが育つ地域のつながりづくり事業実行委員会の一翼を担い、地域の子育て当事者や住民の事業への参画を促しています。

地域においてプレーパークの自主運営化等を通してコミュニティづくりが促進されるよう、地域団体、市民、行政等多様な主体と協働しています。

事業：サバンナプレーパーク (大高南地区)
なるこプレーパーク (鳴子地区)
かこがいけプレーパーク (大高南地区)

事業展開に係る役割

- 遊び場を開催
- プレーリーダー、
現場コーディネーターとして現地へ
- 実行組織との連携
- 事業の広報啓発のための
各地区報告書にて提言



活動報告（3）子どもの最善の利益を保障する事業

生まれてきた環境に左右されることなく、すべての子どもが将来を描き、自身と意欲を持って生きることを社会で支え保障するために各事業を展開しています。



名古屋市緑区

旭出学区

鳴海学区

徳重学区

桶狭間学区

大高南学区

学習サポート事業（受託事業）

生活困窮家庭の子どもたちを対象とした無料の学習サポート事業を実施しています。

名古屋拠点 5か所（名古屋市緑区内）

知立拠点 1か所（知立市）

名古屋市緑区大高南拠点での多面的な一体化した取り組み

「学び」「遊び」「食」と多面的な育みの要素を持った場を展開しています。子どもが抱える課題へのアウトリーチも兼ねる場として、課題解決につながる機会やしくみを生み出しています。

遊



サバンナプレーパーク

（緑区子育て支援ネットワーク連絡会コーディネート事業）

名古屋市緑区大高南学区にある公営住宅エリアにて、自治会や地縁組織、名古屋市緑区子育て支援ネットワーク連絡会協力体制をとりながら、各事業を展開しています。

食

子どもとつくる
子ども食堂
さばんかふえ
（自主事業）



学



学習サポート事業（受託事業）

遊

サバンナプレーパーク (緑区子育て支援ネットワーク連絡会 コーディネート事業)

2012年度に「緑区子育て支援ネットワークモデル事業」として試行。2013年度より月に一度、第四日曜日に開催しています。外遊びを中心とする焚き火、ロープ遊びに鬼ごっこといったダイナミックな遊びだけでなく、折り紙や紙工作をしながらの友達とのたわいないおしゃべりや、スタッフとのやりとり等も楽しみながら、子どもたちにとっての「居場所」といった要素も内包し「遊び」を通じて【生きる力】を身につけています。



食

子どもとつくる子ども食堂 さばんなかふえ (自主事業)

＜食＞だけでなく、工作・裁縫などの＜創＞も体験できる場です。四季を感じる食文化に触れながら、子どもたちが「子ども食堂」を通じて生きる力を育み、自らの力を発揮しながら健やかに成長することを応援します。

4月～随時 地域資源(人材・ネットワーク)・食材提供の事業者の開拓

7月 子どもの生きる力を育むしくみづくりに関する地域ミーティング
“おとな食堂 in 森の里”の実施※地域の方と共有し協力・連携を推進

7月 ～さばんな かふえ～プレオープン

8月 こども会議さばんなかふえをどのような場にしたいか
子どもたちと一緒に考える

8月～月一ペースでオープン基本第4土曜日に実施



■立ち上げまでの経緯

1-1) 環境整備～地域資源

地域の社会資源調査(2016年4月～9月随時)

地域で支える仕組みづくり(随時 継続発展)

【地縁組織、市民への働きかけ】【行政への働きかけ】

【教育機関への働きかけ】【ケースワークに係る関係各所との共有】

1-2) 環境整備～事業PR・広報活動

■事業計画書(行政向け・CSO向け)の作成

■プレスリリース、掲載・発信

■イベント出展によるPR

■寄付募集チラシの作成、配布、発信

学

学習サポート事業(受託事業)

生活に困難を抱える子どもたちに対し、自立へ向けての意欲喚起や学習意欲の向上を図るとともに、居場所の提供を通じて日常生活の形成や社会性の育成を担います。



★活動報告（4）人材育成

こどもNPOに関わる人材（若者、学生・社会人ボランティア、学生・社会人学習サポーター、職員、関係機関各所等）一人ひとりが、ミッションに直結した活動の実践者として活躍できるよう、学びあいの機会や実践の場を設けています。

サマーセミナーの出展＜7月＞

こどもNPO内のESDプロジェクトチームにより子ども権利について考えるワークショップを開催しました。

ESD※月間＜11月＞

各運営拠点・事業拠点にて、自らの活動を社会課題とつなぎながらESDの観点でまとめました。

学習サポーター研修＜毎月＞

学習サポート事業にかかわる大学生・社会人と共に、子どもを取り巻く社会課題を背景とした課題を出し合い、子どもとの関わりを学びあいました。



サマーセミナー「権利の熱気球ワークショップ」実施の様子

研修、ボランティア等受入（随時）

職員研修（年2回）
研修、ボランティア受け入れ（随時）
中高生のサマーボランティア（夏休み）
大学生実習受け入れ（随時）
講師派遣（随時）

※ESD=Education for Sustainable Developmentの略。持続可能な社会の担い手づくりという意味

★活動報告（5）調査研究及び政策提言事業

調査研究部門 学校創りプロジェクト

子どもにとって最善で、自立と共生を支え合い、平和を創り出すための学校の設立を目指します。2016年度は、理想の学校の具体的な構想をとりまとめ、同じ志を持つ仲間をつなげるための「旗印」を明らかにしました。

＜実績＞

- 運営会議 7月27日、8月15日、10月31日、12月3日、2月16日、3月22日
- 総会 7月3日
- 基本構想ワークショップ
第1回 9月3日、第2回 10月16日、第3回 11月3日、第4回 2月26日／2月27日
全回を経て「理想の学校」の基本的な考え方（学校の理念、子ども観と「教育」方針、育みたい価値観とスキル、カリキュラム要素）について確立することができました。
- 学習会 1月8日（日）13:30～16:00
箕面こどもの森学園校長 藤田美保さんをお招きして、
基礎学習、その他教科学習の考え方と具体的な教育内容などについてお話をお伺いしました。

＜実施体制＞

NPO 法人 NIED・国際理解教育センター、こどもNPO有志メンバー

政策提言部門

行政等からの受託事業を展開するなかで、各拠点・各事業の現場最前線で子どもに起こっていること・共に体験したことを報告するだけでなく、課題を抽出し、子どもを取り巻く社会現状／社会課題と照らし合わせて、課題解決にむけた提言・行政施策への提案を行いました。

★ 活動報告 (6) 広報・啓発事業

関係機関と連携し、ミッションに係る啓発・周知や事業の展開などを多岐に渡り行いました。

イベントを通じた出展型広報

ぼらマッチ！<6月>

「第4回 ぼらマッチ！なごや

～あなたにマッチしたボランティアを見つけよう！～

協働先：名古屋市市民活動推進センター

■ブース出展

- ・活動紹介
- ・ボランティア募集

■ボランティア講座

「子ども・ユースのパートナーになろう！」

子どもやユースと関わるボランティアに参加するうえで、知っておくとよいことを学べる講座を実施。自分らしさを活かして子どもやユースとどうかかわっていこう、ボランティアをする際に自分はどんなことを大切にしようと考え、交流する時間となりました。



環境デーなごや<9月>

協働先：名古屋市環境局

■ブース出展

「こども&わかものと持続可能な社会をつくる」

- ・活動紹介
- ・ものづくりワークショップ
(古紙を再利用したビーズアクセサリーづくり)

環境テーマを主題に据えながらも、分野を超えた学びあいをテーマにしたイベント。一般来場者やブース出展団体同士の交流のなかから、新たな発見や発信をすることができました。



CCC コラボメッセ<10月>

協働先：愛知淑徳大学コミュニティーコラボレーションセンター

■ブース出展

- ・活動紹介
- ・ボランティア募集

大学内団体をはじめとし、行政機関・NPO 団体など様々な分野の互いの活動報告などを通して交流を行いました。



講師派遣

2016 年度講師派遣			
2016 年 5 月 15 日	子どもの貧困分科会 名古屋市がとりくむ子どもの貧困対策	第 42 回東海自治体学校 実行委員会事務局	本岡恵
2016 年 7 月 24 日	地域包括ケアフォーラム ～地域の力でささえあい	南医療生活協同組合	小島千春
2016 年 7 月 31 日	子ども・若者を支える コミュニティビジネス	特定非営利活動法人起業 支援ネット	小川智子
2016 年 8 月 7 日	知ることから始めよう 『子どもの貧困問題』	愛知県司法書士会	本岡恵
2016 年 9 月 24 日	まちづくりの好事例から学ぼう	碧南市市民活動推進セン ター	青野桐子
2016 年 9 月 26 日	学習支援事業に関する知識の教授	愛知淑徳大学交流文化学 部	山田恭平
2016 年 10 月 17 日	くらしまちづくり学習会 子ども食堂について	南医療生活協同組合	小島千春
2016 年 11 月 9 日	あいちの未来をインタビュー ワガコトサロン	あいちコミュニティ財団	本岡恵
2016 年 11 月 16 日	ESD 実践の現場から ～子どもとつくる持続可能な未来～	名古屋市立大学大学院人 間文化研究科	根岸恵子
2016 年 12 月 4 日	第 2 回ぎふ木育交流会	岐阜県林政部恵みの森づ くり推進課	本岡恵
2016 年 12 月 9 日	子どもの貧困フォーラムなごや 広がれ！みんなの夢と笑顔	名古屋市子ども青少年局	本岡恵
2016 年 12 月 11 日	『児童館』から学ぶ 子どもの居場所づくり	特定非営利活動法人全国 こども福祉センター	菅沼功
2017 年 1 月 25 日	NPO と行政のテーマ別意見交換会	愛知県県民生活部社会活 動推進課	本岡恵
2017 年 2 月 5 日	公営住宅自治会シンポジウム	愛知県県営住宅自治会連 絡協議会	根岸恵子
2017 年 2 月 28 日	子どもと子育てを支え合う「わ」づくり講 座～地域の担い手になってみませんか～	名古屋市緑生涯学習セン ター	青野桐子



企業や他団体との連携



住友理工の森へ行こう・遊ぼう・ゆったりしよう<8月> (協働事業)

協働先：住友理工株式会社

場 所：長野県北安曇野郡池田町「住友理工の森」 宿泊先「赤い屋根」

ひとり親世帯の親子を対象とした1泊2日におよぶ自然体験の機会を持ちました。

自然豊かな環境のなか、大学生や訪問先の地域のみなさん（高齢者の方、森林組合の方、池田町の職員の方等）とのふれあいを通して豊かな時間を過ごしました。

<1日目>

鱒つかみどり体験、流しそうめん、森づくり作業、竹細工づくり、バーベキュー・すいかわり・花火

<2日目>

散策、野菜収穫・トウモロコシ種まき、カレーづくり など

育成研修連携<6月～12月>

協働先：特定非営利活動法人中部プロボノセンター

中部プロボノセンター主催「第3期プロボノメンバー育成研修」プログラムにおける連携団体として、Roots事業への支援をいただきました。

半年に渡る活動のなかで課題整理、経営戦略、新規企画の開発、広報強化など多角的な支援をしていただき、放課後の収益事業やリーフレット、ホームページを作成し、参加者の増加につながりました。

★ こどもNPOの歩み

2000	・3～12月 設立準備
2001	・4月10日 NPO法人認定 ・「子どもの参画」を推進するプログラム社会福祉医療事業団助成子どもの参画フォーラム in 名古屋 ・親と子のコミュニケーション講座 名古屋市生涯学習センター 受託 ・子どもの参画サポーター養成講座 2001～2007年 子どもの自然体験活動「アースキッズ」 子どもゆめ基金 助成 2001～2008年 子育て支援講座「親子のびのび講座」 名古屋市生涯学習センター 受託
2002	・コミュニケーション講座 名古屋市生涯学習センター 受託
2003	・子どもの参画の実践の場として名古屋市緑区に「ピンポンハウス」開設準備4月よりオープン ・子どもサポーターズ☆マッチング基金 助成 ・ピンポンハウスにて子育て支援サロン開設 自主事業 ・子育てサポーターセミナー 名古屋市生涯学習センター 受託 2003～2005年 日進市「こども環境会議」 受託 2003～2005年 「西の森・子ども森づくり探検隊」名古屋市緑土木課 受託 2003～2014年 ピンポンハウスにて子育て支援のための「なごやっこの広場事業のびのびひろば」名古屋市補助事業
2004	・緑区男女平等参画事業 名古屋市緑区役所 受託 ・住宅・まちづくりマスタープランの住民意見ヒアリング「地域会議」開催 愛知県 受託 ・夏休み造形クラブ 自主事業 ・「オズモールまち探検」 NPO 法人せるふサポート 受託 ・子育て支援の視点からのジェンダー講座 名古屋市男女参画推進センター 受託 ・「子どもリーダー養成講座」子どもサポーターズ☆マッチング基金 助成 ・日進市子どもサポーター養成講座 受託 ・「福祉子どもまちづくり」ワークショップ 稲沢市社会福祉協議会 受託 ・「子どもの社会参画」ワークショップ 愛知県地域指導者研修会 ・ピンポンハウス開設から現在までの活動をまとめた「ピンポンハウス物語」発行 子どもサポーターズ☆マッチング基金 助成 ・住宅・まちづくりマスタープランの住民意見ヒアリング「地域会議」の開催 愛知県 2004～2005年 中部電力「エコ地図づくり」運営協力 2004～2014年 ピンポンハウスにて「小・中学生の居場所づくり」自主事業
2005	・不登校児のための「トライアルキャンプ」体験プログラム 愛知県教育スポーツ振興財団 受託 ・地域の民生児童委員と実行委員会を結成、「地域子ども教室」開催 文部科学省 助成 ・「パワーステーション C&Y」 文部科学省 助成 ・中学生と赤ちゃんの交流事業「赤ちゃんキャラバン隊」緑区社会福祉協議会助成 *現在は児童館事業として継続 ・子育て支援者養成講座 ・「こども環境ファシリテーター」養成講座 なごや環境大学 助成 2005～2008年 「1歳児エンジョイサロン」緑区スポーツセンター 受託
2006	・「子どもの参画フォーラム in 名古屋」開催 自主事業 ・「アピタ探検」ユニーク株式会社との協働事業 ・「大高学区における中学生の地域参画講座」 生涯学習センター主催事業に協力 ・「遊びの支援者講座」子どもゆめ基金助成 ・新海池公園 冒険遊び場プレーパーク試行的実施 ・「エコクッキング教室」東邦ガス 協働事業 ・「らくらく子ども会」子どもの虐待防止ネットワークあいち 開催協力 ・「子ども安全安心プログラム」緑区社会福祉協議会 助成 ・「子育て支援者養成講座」緑区社会福祉協議会 助成*2008～2011年 自主事業として継続 2006～2007年 「県営住宅における子育て支援モデル事業」愛知県 受託 2006～2007年 県営住宅における小中学生の居場所づくり事業実施 愛知県受託 2006～2009年 「子どもエコライフ教室」緑環境事業所 協働事業 2006～2014年 「一時預かり びぼちゃんち」自主事業
2007	・「子育ての経験を地域に生かすあつるママ講座」 生涯学習センター受託 ・青少年の自立支援事業「公営住宅における青少年の現状調査」 文部科学省 受託 2007～2008年 中学生の居場所づくり 愛知県受託 2007～2009年 高校生対象「いのちの交流事業」 名古屋市協働事業 2007～2009年 「ハッピーママ応援隊」緑区社会福祉協議会 助成 2007～2010年 交流ステーション」子どもゆめ基金 助成 2007～2010年 「いきいきなごやっこモデル事業 冒険遊び場いのみ池プレーパーク」 名古屋市 受託 *現在は児童館事業として継続 2007～2013年 「サイエンスキッズ」子どもゆめ基金 助成 2007～2015年 「みどり赤ちゃんまつり 0,1,2」緑区子育て支援ネットワーク連絡会 協働事業
2008	・「子ども会議」運営サポート 三重県 受託 ・名古屋市子ども条例に関する協働事業 受託 ・「いきいきなごやっこモデル事業 ピンポン横丁」名古屋市受託 ・「いのみ池あそび隊」 子どもゆめ基金 助成 ・「TEEN'S 情報交流ステーション」 子どもゆめ基金 助成 ・「児童館における中学生のボランティア活性化事業」こどもの城 受託 ・「放課後のたまり場」緑区社会福祉協議会 赤い羽根共同募金 助成 ・「遊んで食べてエコ宣言」デンソー地域の環境活動 助成 ・「ステップアップママ講座」生命保険協会 助成 2008～2009年 「子ども会議運営支援」豊田市 受託 2008～2009年 「中学生の無料塾」 俱進会 助成 2008～2010～2014年 「ちびっこ親子のたまり場」緑区社会福祉協議会 赤い羽根募金配分 助成・自主事業として実施 2008～2013年 中学生の居場所「フリースペース☆ピンポン」 自主事業 2008～2015年 名古屋市緑区児童館指定管理事業スタート *名古屋市社会福祉協議会・たすけあい名古屋とのコンソーシアム 現在は緑区社会福祉協議会とコンソーシアム

2009	・冒険遊び場いのみ池プレーパーク小屋設置 都市センター助成 ・「環境プログラム事業」 JICA 受託 ・子育て支援者スキルアップ講座「ほっとはーと講座」 自主事業 ・0歳児親子向け講座「きらきらクラブ」のちに「ハッピークローバー」として実施 自主事業 ・「子どもファシリテーター養成講座」 実施 ・「開府 400年祭子ども実行委員会未来フルーフ政策提案づくり支援」 受託 ・「子育てパウチャー意見交換会」 名古屋市受託 2009～2014年 「預かり保育 まいまい」 自主事業
2010	・「こどものまちピンポン横丁・夏」実施 名古屋市いきいきなごやっ子づくり補助事業 ・名古屋開府 400年事業「こどものまち全国主催者サミット子ども会議 子ども交流会」 「なごや子ども City2010」実施 名古屋市一部委託 ・「遊遊(ゆうゆう)」絵画・造形・調理・自然体験活動 自主事業 2010～2011年 緑区子育て支援ネットワーク連絡会モデル事業屋外型広場 お父さんのやきいもタイムなど実施
2011	・「いのみ池マップみつけ隊」 子どもゆめ基金 助成 ・「小さな学校」なごや環境大学 助成 ・「父親支援連続講座」 豊明市 受託 ・「無料塾」実施。 自主事業 2011～2014年 「Teens Cafe」名古屋市社会福祉協議会 助成 2011～2014年 「こどものまちサミットなごや子ども City ナノ」名古屋市 実行委員会
2012	・「子どもの権利条約フォーラム 2012in あいち」実行委員会準備会(事務局担当)の立ち上げ ・「ニコエコ探検隊」子どもゆめ基金 助成 ・「こどもエコライフ教室」 緑環境事業所 受託 ・「子ども・子育て支援サポート養成講座」名古屋市社会福祉協議会 助成 ・「子どもの育ちを支援するプレイリーダー&ファシリテーター研修」こども未来財団 助成 ・「地域のエコ・コミュニケーション力を高めよう～子どもの未来に向けて語り合おう～」なごや環境大学助成 2012～2013年 「こどものまちピンポン横丁 2012」名古屋市社会福祉協議会 助成 2012～2014年 「ちいさなちいさな地球の学校」 自主事業 2012～2015年 名古屋市中川児童館指定管理事業スタート特定非営利活動法人介護サービスくらとコンソーシアム 2012～2015年 緑区子育て支援ネットワーク連絡会 「子どもが育つ地域のつながりづくり事業 実行委員会」大高南学区冒険遊び場サバナプレーパーク 実施
2013	・虐待予防を目的に「緑区オレンジリボンキャンペーン 2013」実施 名古屋市緑区役所 協働事業 ・「地域で子どもが育つための支援者養成講座～子どもの参画の検証と評価指標づくり～」こども未来財団 助成 ・「はじめよう地域のエコ・マルシェ」コミュニティ市場から持続可能な未来のために～」なごや環境大学 助成 2013～2015年 「名古屋市生活保護世帯の子どもの学習サポートモデル事業(緑区)」名古屋市 受託 2013～2014年 「ESD2014 に向けての意見交換会」環境省中部環境パートナーシップオフィス 協働事業
2014	・「いっしん子ども防災マップ探検隊」 日進市 受託 ・「ISPCAN 子どもの虐待防止世界会議 ユースフォーラム」CAPNA 協働事業 ・「エンジョイ!のらキッズ」なごや環境大学 助成 ・「子どもアート☆コミュニケーション」子どもゆめ基金 助成 ・「学校に行かない、行けない子どもの居場所づくり事業 LARGO」あいちコミュニティ財団 助成 ・「不登校の子どもの居場所づくり事業」ペガサス財団 助成 ・「春の生活キャンプ」 子どもゆめ基金 助成 ・「子どもの参画促進研修～児童館・子どもの遊び場における子どもの参画～」緑児童館・中川児童館協働事業 ・「次世代環境教育実践者研修」名古屋市環境局 受託 ・「こども NPO 学び場づくり ×NIED 平和を創りだす学校づくりプロジェクト」 NPO 法人 NIED 国際理解教育センター 協働事業*2015年 任意団体「理想の学校を創る会」立ち上げ、運営サポート 2014～2015年 「名古屋市ひとり親家庭の子どもへの学習サポートモデル事業(緑区・中川区)」名古屋市受託 2014～2016年 もうひとつの「ごっこ」こどもとつくる ぐらし☆あそび☆まなびの場 Roots」 自主事業 2014～2015年 「子どもの権利条約学習会」 自主事業
2015	・「子ども・若者委員会プロジェクト(Teens' Cafe)」 自主事業 ・緑区人権尊重のまちづくり事業 こども&おとな ホンネTalkLive in2016 緑区役所委託 ・「ESD 講座～ユースの力が社会を変える～」なごや環境大学助成 2015～2017年 「Roots 基盤強化事業」名古屋市社会福祉協議会 「地域福利リーディングモデル事業」助成 2015～2018年 「名古屋市子ども・子育て支援センター」名古屋市受託特定非営利活動法人子育て支援の NPO まめっこ、 特定非営利活動法人起業支援ネットとのコンソーシアム団体 「なごや子ども子育て未来プロジェクト」として名古屋 市より受託
2016	・子どもが創るまち ピンポン横丁 2016 ・緑区人権尊重のまちづくり事業 こども&おとな ホンネTalkLive in2016 緑区役所委託 ・なごちサミット 2016 名古屋市子ども青少年局委託 ・安曇野・住友理工の森へ行こう・遊ぼう・ゆったりしよう 住友理工(株)、池田町役場協働 ・名古屋市生活保護世帯の中学生の学習サポートモデル事業(緑区) 自主事業 ・名古屋市ひとり親家庭の中学生の学習サポートモデル事業(徳重) 名古屋市子ども青少年局 委託 ・名古屋市中学生の学習支援事業A型 名古屋市健康福祉局 委託 ・名古屋市中学生の学習支援事業B型(大高南・徳重・旭出) 名古屋市子ども青少年局 委託 ・名古屋市中学生の学習支援緊急対応 名古屋市子ども青少年局 委託 ・知立市生活困窮者子どもの学習支援事業 知立市福祉子ども部 委託 ・子どもとつくる子ども食堂 in 大高南 日本フィランソロピー協会 助成 ・ESDプロジェクト 自主事業 ・理想の学校を創る会サポート事業 自主事業

★ 2016 年度収支決算

自 2016年4月1日 至 2017年3月31日

活動計算書

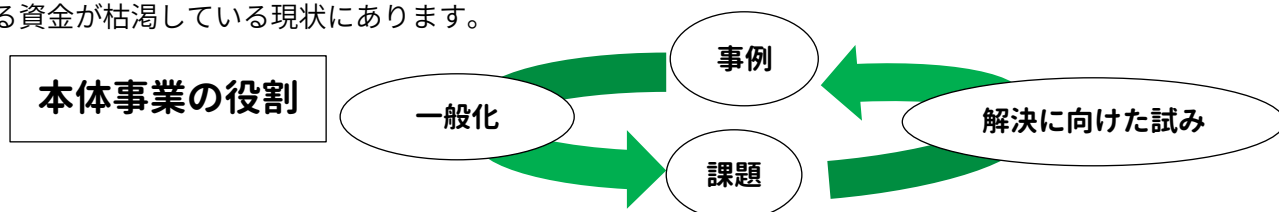
経常収益	受取会費	368,000	
	受取寄付金	3,226,308	
	受取助成金等	1,747,679	
	事業収益	142,917,992	
	その他収益	234,782	
	経常収益 計	148,494,761	
経常費用	事業費 人件費	94,869,762	
	事業費 その他経費	42,900,638	
	事業費計	137,770,400	
	管理費 人件費	4,797,599	
	管理費 その他経費	2,848,642	
	管理費計	7,646,241	
	経常費用計	145,416,641	
	当期経常増減額	3,078,120	
	経常外収益		0
	経常外費用		112,072
	税引前当期正味財産増減額	2,966,048	
	法人税、住民税及び事業税	68,587	
	当期正味財産増減額	2,897,461	
	前期繰越正味財産額	19,899,664	
	次期繰越正味財産額	22,797,125	

貸借対照表

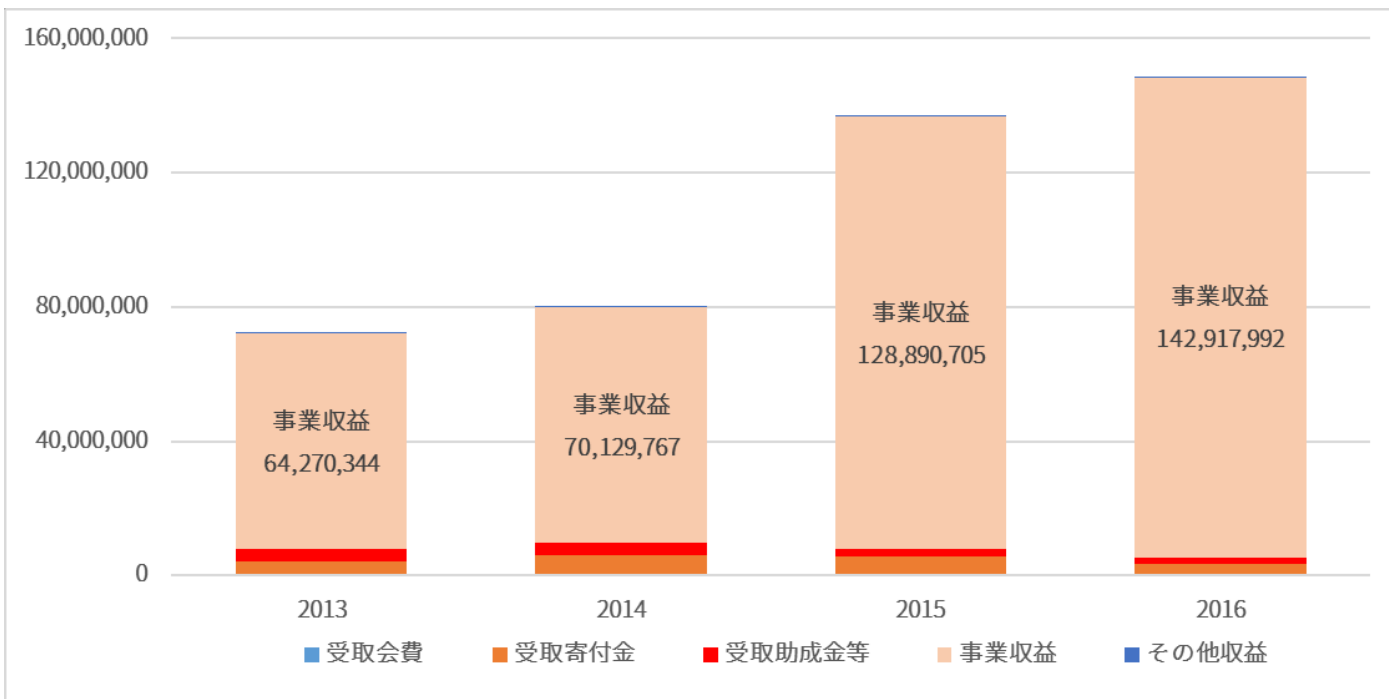
科目	金額	単位：円（税込）		金額	
流動資産	(現金・預金)		流動負債	未払金	11,187,479
	現金	270,304		預り金	761,535
	預金	37,210,853		未払消費税	4,302,800
	(売上債権)	1,251,005		負債の部 合計	16,251,814
	(棚卸資産)	44,290	正味財産		
	(その他流動資産)	220,487		前期繰越正味財産額	19,899,664
固定資産				当期繰越正味財産額	2,897,461
	(投資その他の資産)	52,000		正味財産の部 合計	22,797,125
	資産の部 合計	39,048,939		負債・正味財産 合計	39,048,939

「子どもの社会参画」とは、子どもも市民の一員として主体的に社会と関わりをもち、大人と共により良い社会をつくっていくことです。本来どのような状況下にいる子どもにも、その力があります。私たちは各事業を通して、子どもを取り巻く社会的課題に直面しながら、絶えずその課題に潜む潜在的な背景を考え、解決に向けてアプローチを試みています。

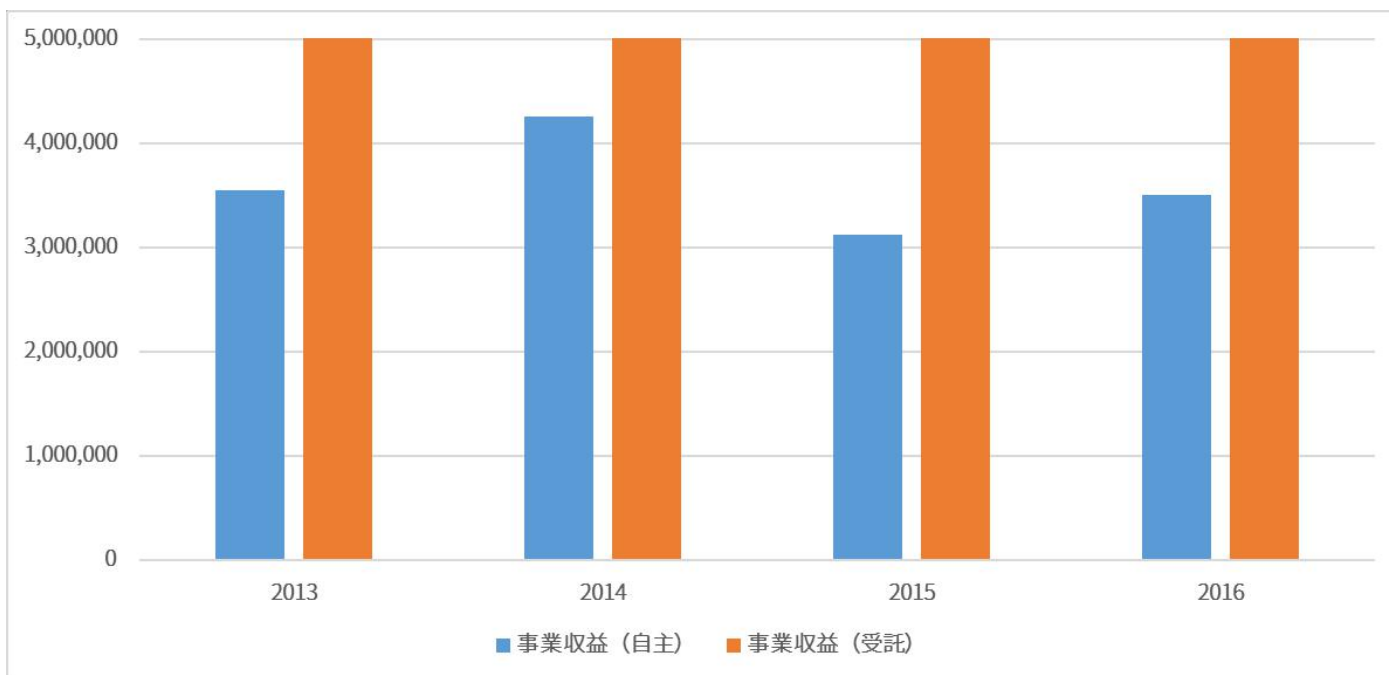
そのようなアプローチは本体事業と複合的に展開し、そのなかで先進的な事例が生まれ、提案・提言へとつながっていき、社会に浸透させていく役割を担ってきました。現在、こども NPO の収入の多くは、公的施設の受託料や指定管理料で占められており、そのような課題解決の糸口となる先進的な試みを生み出す本体事業にかかる資金が枯渇している現状にあります。



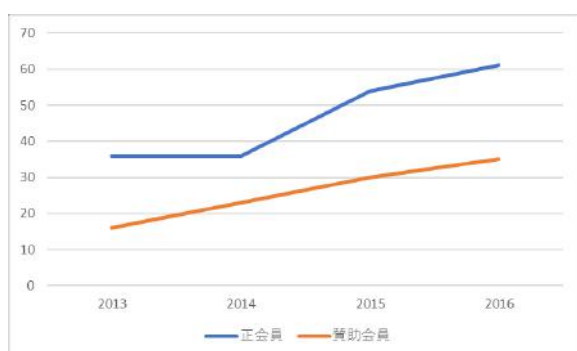
収益状況の推移



事業収益の推移



こどもNPOの会員状況



寄付の割合



2016 年度運営体制

■役員

理事

石原信行（理事長）、青野桐子（副理事長）、新倉春美（副理事長）、河合裕子、加藤隆広、滝 栄一
小島千春、小川智子、塚本 岳、本岡 恵、村田峻一

監事

敦賀昭代

■事務局

加藤隆広（事務局理事）、青野桐子（事務局長）、小川智子（事務局次長）河村玲子、酒井美智子、加古麻理江

■事業体制

(1) 子どもの社会参画事業

<Teens' Café>

小島千春、新倉春美、加古麻理江

<なごっちサミット 2016>

根岸恵子、鈴木真由子、加古麻理江、萩野なぎさ、宮坂 綾、菅沼 功、小島千春

<もうひとつのがっこう 子どもとつくるくらし★あそび★まなびの場 Roots>

伊藤 暁、福島真由美、富塚裕美、鈴木理恵

<Roots 基盤強化事業>

青野桐子、伊藤 暁、富塚裕美、福島真由美

<子どもがつくるまち ピンポン横丁 2016>

小島千春、加古麻理江

<名古屋市緑児童館>

小島千春（館長）、塚本 岳（主任）、渡辺宏明、小出光優季、田尾幸子

<名古屋市中川児童館>

根岸恵子（館長）、菅沼 功（主任）、鈴木真由子、宮坂 綾、野村淳子、伊藤晴美、小林敬子

(2) 子育て・子育て支援事業

<名古屋市子ども・子育て支援センター758キッズステーション>

コンソーシアム各団体代表：青野桐子（こどもNPOから）

小川智子（センター長）、水谷有志（主任）、六鹿直樹、二宮由布子、杉原由美子、伊藤映理子、山本嘉代

萩野なぎさ、空閑省子、小関裕子、

<緑区子育て支援ネットワーク連絡会コーディネート事業>

塚本 岳、伊藤 暁

<住友理工の森へ行こう・遊ぼう・ゆったりしよう>

小川智子、小島千春

(3) 子どもの最善の利益を保障する事業

<学習サポート（名古屋市・知立市）>

山田恭平、本岡 恵、服部幹生、三石裕美

<子どもとつくる子ども食堂さばんなかふえ>

根岸恵子、小島千春、山田恭平、河村玲子、六鹿直樹、本岡 恵、塚本 岳、伊藤 暁

(4) 人材育成事業

<ESD プロジェクトチーム>

新倉春美、根岸恵子、滝 栄一、加古麻理江、二宮由布子、宮坂 綾、六鹿直樹

<研修プロジェクトチーム>

新倉春美、滝栄一、加藤隆広、小島千春

(5) 調査研究及び政策提言事業

<理想の学校を創る会サポート>

NPO 法人 NIED 国際理解教育センター、こどもNPO有志

(6) 広報・啓発事業

事務局、ESD プロジェクトチーム

★参加のカタチ

会員同士の交流や地域との
つながりづくりを目的とした、
会員発信の「会員企画」もあります！

★会員として参加

正会員 会費5,000円/年

総会での議決権を持ちます。

こどもNPOで行う行事等や会報『こどもNPOだより』（年4回）をお届けします。

賛助会員 会費3,000円/年

総会に陪席することができます。



★お買い物で参加

イエローレシートキャンペーン

イオンモール大高（名古屋市緑区）のイエローレシートキャンペーンに

登録しています。毎月11日にお買い物をした後に発行される黄色い

レシートをこどもNPOの投函BOXに入れてください。

年間合計の1%にあたる品物をいただくことができます。



★寄付をして参加

みなさまからいただいたご寄付は、子どもたちのための事業運営、団体運営のために有効に活用させていただきます。

振込先 ゆうちょ銀行 00860-2-188302 特定非営利活動法人こどもNPO

【他行から振込の場合】ゆうちょ銀行 ○八九 (089) 支店 当座 0188302 特定非営利活動法人こどもNPO

・東海ろうきん寄付システム

東海ろうきん寄付システムは、寄付先を選んで使い道がきちんと伝わり、気軽に参加できる寄付システムです。100円の少額から、定期的に寄付が出来ます。活動を継続的にするためにも、みなさまのあたたかいお気持ちをお寄せください。



・ワンクリックの無料寄付

NPO/NGO応援サイトgooddo（グッドドゥ）に登録しています。（<http://gooddo.jp/gd/group/kodomonpo/>）

『応援する』ボタンをクリックすることで、合計ポイントに応じた支援金をいただくことができます。

応援する側は無料です。スマホから、タブレットから、PCから、1日1クリックお願いします。

★一緒に活動して参加

イベントに参加する、ボランティアスタッフ

としてかわる、庭や畑の手入れを手伝う、

会報の印刷・発送作業を手伝う、子どもに

ギターを教えるなど、

興味のあること、

得意なことで

協力してください。



★情報シェアで参加

私たちの活動に共感された方は、ぜひ情報発信をお願いします。

facebookで『いいね！』をする。

シェアをする。

ブログやSNSでこどもNPOの活動を紹介する。

こどもNPOの企画を友達に話してみるなど。

特定非営利活動法人こどもNPO

〒458-0818 名古屋市緑区鳴海町字大清水 69-1116

☎ 052-848-7390（電話受付時間 平日9:00~17:00）

Email office@kodomo-npo.or.jp

HP <http://www.kodomo-npo.or.jp>

Facebook <https://www.facebook.com/kodomonpo.nagoya>

